

2024年度くわな幼稚園/認定こども園くわな_学校関係者評価シート

教育目標	自然に親しみながら創造的に過ごすことのできる人間を育てる
重点目標	園児の活動に対する意欲を高めるために心情を受け止め、その延長線上の態度を育成する
重点課題	園児の創造性を高める活動の設定にあたり、各教員のさらなる創造性を発揮し得る職場環境を作る 園児の創造性を高めるとき、家庭を支える家族の理解と協力の在り方を精査し、進める。特に保護者のエゴと需要の違いを見極める 園児送迎時の安全を確保する一環として、スクールバスのより安全な運行をはかるための方策を練り、実施する

凡例
4=◎
3=○
2=△
1=x
0=x x

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
心情	指示ではなく理解を寄せる	3.00	・あわただしくなっている時は多くなっていた。まず受けとめるよう意識する。	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かして遊んだり、初めての事をする時、強制をするのではなく見守りから入るのがあるがたい。 ・行事で環境が違う事を理解して子どもが騒いでも「静かにして」というのではなく優しく諭してくれた。
	子どもの言葉にうなづく	4.00	・子どもと話す時、目線を合わせ、聞く姿勢をとった。	
	子どもの言葉を聞き逃さない	4.00	・場面に応じて言葉を拾って、受け答え出来るよう心がけた。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
意欲	適切な教材などの環境を準備する	4.00	・学年で話し合う場面を設けて、準備をした。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は喜ぶと思うが、製作で使う材料に金額がかかっている。廃材を使うなど工夫できるのではないかな？ ・スポーツフェスタや発表会では、プログラムごとに子ども達と成果を喜ぶ姿は印象的で良いと思う。 ・全体的に丁寧に子どもの気持ちに寄り添っている印象だが、先生によって差が見られる。(色々なタイプの先生がいるので仕方ないかもしれない)
	言葉を拾って広げる	4.00	・子どもの発言やつぶやきを聞き、活動の意欲へとつなげ、発展へと結びつけた。	
	成果を喜ぶ	4.00	・気持ちに共感し、出来たことを共に喜んだ。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
態度	動機の高まりを受け止める	4.00	・行事等において、気持ちに寄り添い共感することも意識した。	
	集中力の行方を見定め助長する	3.00	・次を予測しながら、寄り添い、適切な考えや、方向性が見定めよう意識した。	
	任せる	4.00	意欲を大切にしながら、出来ることを任せ、見守った。	

教員自己評価

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 保育の計画性	園の教育理念や教育方針を理解している	3.61	・園の方針やねらいに沿って、適切な保育をすすめられるよう、縦割り・各学年・係など話し合いを重ねる。	・園の方針に沿って活動することも大切だが、クラスや先生の個性に合わせて臨機応変な保育とともに子どもの成長を見守ってほしい。
	園の教育方針に共感している			
	園の方針、園長の考えについて園長や教職員と話し合っている			
	園のねらいにそった保育をしている			
	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる			
	幼稚園教育要領を理解していると思う	3.49	・教育要領の内容や項目を現状と照らし合わせてみたり、話し合いやおたよりの中に取り入れたりしている。	
	幼稚園教育要領について、園長や教職員と話し合っている			
	幼稚園教育要領について、幼児の姿や環境の構成、教師のかかわりなど具体的な事例を想起できる			
	園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神をふまえて園の教育理念・教育方針にしたがい編成している	3.52	・年間計画・学年のねらいなどと照らし合わせて、保育に活かせるよう話し合いの場面を設けるようにした。	
	園の教育課程を理解していると思う			
	園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている			
	園の教育課程は園長が中心となり、教職員と協力しあって編成している			
	園の教育課程は社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている			
	園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	3.58	・幼児一人ひとりの様子を捉え、適切な指導計画を立て進めている。 ・学年または園全体でよりよい教育となるよう学年会や職員会・主任会などで話し合いを重ねている。	・行事ごとに工夫され、園でしか出来ない体験の機会を作ってもらっている。
	指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態などをもとに考えて作成している			
	指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している			
	長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しをおこない、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるように作成している			
	短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、自由に変更できるような順応性のあるものになっている			
	指導計画は総合的な活動ができるように考慮し作成している			
	幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態に合わせて精選している			
安全で清潔感のある環境構成をしている		・毎日部屋の掃除・トイレの掃除・テラスの掃除を行い清潔を保っている。	・先生方が隔々まで掃除をしている様子を見	
指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている				
幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている				
幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をしている				
遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・量を配慮して用意している				

5	<p>楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている</p> <p>幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている</p> <p>幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している</p> <p>幼児の発想を柔軟に取り入れて保育室の装飾や展示を考えている</p> <p>教師の願いや意図をもって環境構成をしている</p> <p>幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている</p> <p>季節の変化に応じた環境構成をしている</p> <p>異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている</p>	3.62	<p>・子ども達が自ら考えて展開していけるよう年齢に応じた素材を提供している。</p> <p>・子ども達の言葉や行動を観察し、より活動や遊びが広がるよう提案したり、保育者同士話し合っ、環境に変化を持たせられるようにしている。</p> <p>・異年齢でのやりとりはあるが、自然によりも先生同士で、話し合っのことが多いので、より子ども達から意見が出てくるように声をかけて行くことができるより良い。</p>	<p>る。</p> <p>・実物に触れる機会を沢山作ってくれる。(鰻と触れる機会は印象に残っている)</p> <p>・子どもがするしないに関係なく声掛けをして、子ども主体で活動している。</p> <p>・子どもの発想を大切にクラスの活動に繋げていると感じる。</p> <p>・行事の後に、他クラス・異年齢のクラスと発表会ごっこの話を聞くと楽しさが伝わってくる。</p>
6	<p>自分の保育と計画の評価・反省を、行うようにしている</p> <p>評価・反省は観点を定めて行っている</p> <p>自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている</p> <p>自分の保育を他の教師たちにも見てもらい、それをもとに検討している</p> <p>互いに保育をみせあって、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている</p>	3.50	<p>・全体だの評価をもとに次へつなげられるようミーティングで共有している。</p> <p>・学年会などで保育の計画や反省を話し合っている。行事はビデオなど撮ってもらい次に活かせるよう話し合っている。すぐに活かせること(行事は一年後になってしまうので)把握できより良い。</p>	
1	<p>朝の登園時は特に視診を大切に幼児の体調が悪くないかを確かめている</p> <p>体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い適宜、家庭へ連絡している</p> <p>けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や言葉かけを行っている</p> <p>万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置を行っている</p> <p>園内に危険な箇所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかなどを常に観察している</p> <p>危険が予測される場合は、幼児達と一緒に見たり、考えたりなどして、安全な使い方や遊び方について気付くことができるようにしている</p> <p>クラスの中の水道付近の清掃や、換気、採光、室温などに気をつけている</p> <p>トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を具体的に示している</p>	3.80	<p>・ストッパーを付けた⇒クラス入り口のドアで指を挟んだ。子ども達にも、挟む可能性と危険を知らせた。</p> <p>・使い方方を常に確認し伝える⇒危険を避けるためトイレの使い方部屋の使い方など</p> <p>・総合的な判断ができるよう意識する⇒熱だけでなく「いつもと違う」を感じ取れるよう観察もする。</p>	<p>・クラスの室温・暖房があつすぎる。逆に明らかに寒い日は上着をokにして欲しい。薄着で発汗を促すこともわかるが雪の日以外の、風の強い日、体調の悪い時も持たせたい。</p> <p>・おもらしをした時の対応で足を拭かずに着替えではなく清潔に拭いてほしい。</p> <p>・感染症発生の周知徹底をしてほしい。特にバス通園の場合話す機会がなく情報は得にくい。お迎え・ばすの情報の差が出ないことを望む。また、出停だけに関わらず共有することで家庭での様子を観察し感染拡大防ごうにつながる。</p>
2	<p>一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている</p> <p>幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている</p> <p>幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている</p> <p>見えないところで活動している幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することが出来る</p> <p>一人の幼児をじっくりとみながら、周囲にも目を配ることが出来る</p> <p>幼児のこれまでの姿、今の姿から、これからの活動のある程度予想することが出来る</p> <p>個々の幼児の発達の姿や課題について見直しを持って理解できる</p>	3.58	<p>・話が出る子どももよく観察する⇒子どもが発したわずかな言葉を拾えるように『言葉を大人がかぶせないこと』を意識している。</p> <p>・連絡帳の使い方⇒家庭からの情報により生活習慣が見えて、園での活動への理解に繋げることができた</p>	

II 保育のあり方、幼児への対応

幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる
幼児たちがいま興味や関心を持っていることがわかる
幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている
幼児の理解のために保護者と話し合うことがある
幼児の姿を、家庭での生活をふまえて理解している
幼児の姿を多面的にとらえることができる

理解に繋げる事ができた。
 ・バス登校の保護者と情報を共有できるように電話連絡などで務めた。

幼児に合わせて同じように動いてみたり、同じ目線にたってもものを見つめたりしている
幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる
一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている
幼児からのアイデアをくみとって遊びを深めている
「先生のようにやってみよう」と幼児が思うような、モデルとしての姿を心がけている
教師らしい品位ある言葉、正しい日本語の用法を心がけている
幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている
善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でもモデルとなっている
幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている
幼児とのスキンシップをとるようにしている
幼児一人ひとりのよさを認めるようにしている
幼児の話をよく聞くようにしている
幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している
幼児の年齢に応じたわかりやすく聞き取りやすい語りかけ方をしている
幼児が行き詰っている時に、適切な援助をしている
幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている
幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしている
禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている
”一人ひとり”と”みんな”の関係を常に考えながらかかわっている
幼児同士のトラブルに対し、両者の話を聞いている
幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている
幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている
幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない
幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている

3.68
 ・言葉遣い
 ➡焦ったり急いでいる時に、強い言葉を使ったり、否定的にならないようにしたい。
 ➡「〇〇します」「〇〇しません」と言い切りで伝えると伝わりやすい。
 ➡言葉の使い分けをする。きちんとする所は、出来るように言い切りで伝えると良い。(年齢によって対応は変える)
 ➡出来ない事を伝えてスイッチを見極めると伝わる。行動に繋がる事がある。

クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている
クラス的环境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換している
幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している

	<p>4</p> <p>教職員全員が、すべての幼児についてある程度理解しているようさまざまな工夫をしている</p> <p>指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で特によく話し合い、共通理解をもって、対応するようにしている</p> <p>「認知」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「記憶」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「評価」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようなさまざまな工夫をしている</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちとかかわれるよう、さまざまな保育の形態を取り入れている</p>	3.41	<p>・情報共有⇒クラス同士の情報共有は日ごろだけでなく、学年会・主任会で積極的に共有するようにしている。</p> <p>・朝の運動や延長保育、誕生会にて、全学年が異年齢交流をしている。</p>	
III 教師とし	<p>1</p> <p>幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けている</p> <p>より高度な専門知識や技能を身に付けようと研修している</p> <p>幼児の性格や個性を把握するよう努めている</p> <p>保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている</p> <p>仕事の手順をよく考え、能率よく行っている</p> <p>幼児が考え、感じていることがある程度予測できる</p> <p>保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている</p> <p>幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない</p> <p>幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにする</p> <p>朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている</p> <p>感謝の気持ちを言葉などで表わしている</p> <p>園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにする</p> <p>服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている</p> <p>保育にふさわしい服装を身に付けている</p> <p>自らの健康に、十分に気を配っている</p> <p>爪の管理をしている</p> <p>子ども(担任外も)と保護者の顔や名前が一致する</p> <p>担任する、子どもの性格を把握している</p> <p>職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている</p> <p>幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない</p> <p>園の重要書類を無許可で持ち出していない</p> <p>教材、教具の管理、点検に気を配っている</p> <p>クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している</p> <p>現金は管理せず、事務所に預けている</p> <p>締切りのある仕事や提出物は締切日を守っている</p>	3.67	<p>・日々子ども達の姿を観察し、保護者へわかりやすく様子を伝え、信頼関係を作ることに努めている。</p> <p>・整理整頓を心がげ、掃除や片付けを定期的に行うようにしている。</p> <p>・保護者としての自覚を持ち、基本的なことが守れるように意識している。</p>	<p>・保育者の経験年数に関係なく対応に差を感じる。</p> <p>・保育時間内の保育者の携帯使用は、業務なら仕方ないが、プライベートを見せるのはやめてほしい。</p>

ての 資 質 や 能 力 、 良 識 、 適 正		同僚や園の批判を軽はずみにしていない			
	2	教職員全員でひとつのチームであることを意識している	3.69	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の共通理解や物事に取り組めるように、チームとしての気持ちを大切にしている。 ・困ったことは一人で抱え込まず、園長をはじめ、主任などに共有して報告・連絡・相談をするように努めている。 	
		学年をまとめようと努力している			
		「この先生はこの程度だから」と同僚の評価を固定していない			
		会議や打ち合わせは時間を厳守している			
		他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる			
		自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している			
		会議のときは自分の意見や質問を前もって考えている			
		子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をしている			
		係の仕事は確実にこなしている			
		教職員と親しくつき合い、偏った人間関係を作っていない			
		上司の指示、命令には責任を持って実行している			
		上司や先輩に対しては敬語を用いて話している			
		教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない			
		園のことを、みだりに、他へ話してしていない			
		主任、もしくは上司は、自分の利益より全体の利益を優先していると思える			
主任、もしくは上司を尊敬できる					
同僚の問いかけに無視することなく、答えている					
自分の思いや考えを他人に理解しやすいように伝える努力をしている					
3	幼児と会話をしたり遊んだりするのが好きである	3.81	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達と一緒に遊び、遊んでいく中で、嬉しい、悲しいなどの気持ちを共に経験し、できるようになったことなども喜び、成長を喜ぶようにしている。 		
	幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる				
	幼児と一緒に苦しんだり考えたりすることができる				
	幼児と一緒に生活を創りだすことが楽しい				
	特に配慮を要する幼児が望ましい方向へと変容していく過程に喜びを感じる				
4	幼児や教育に関する情報をたえずとらえようとしている	3.53	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた遊びを取り入れて、自然に触れることができるようにしている。 		
	幼稚園や幼児のことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある				
	幼稚園の仕事の他に、多様な趣味を持っている				
	自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている				
	地域のことに関心がある				
	クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりで知らせている				
	欠席の場合は電話連絡をしている				
	個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝えている				
	保育参観や保護者会を開いて子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努めている				

IV 保護者への対応	1	<p>場合によっては個別に保育の様子や子どもの様子を見てもらったり、保護者と話し合ったりする</p> <p>いつでも個別懇談が行える体制であることを保護者に伝えている</p> <p>自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞いている</p> <p>「認知」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「記憶」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「評価」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>必要に応じて、ビデオ、写真、イラストなどさまざまな方法で分かりやすく伝える工夫をしている</p>	3.34	<p>・クラスの様子や子どもの様子はおたよりで知らせたり、保護者に直接伝えたりして対応している。</p> <p>・印刷物や懇談、展示でわかりやすく説明するように努めた。</p>		
	2	<p>保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視しないで、園長や主任、学年主任等に報告や相談をしている</p> <p>保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている</p> <p>保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行っている</p> <p>保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている</p>	3.71	<p>・保護者からの意見は園長や主任に話し、ミーティングなどで全体に知らせている。</p>		
	3	<p>保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている</p> <p>個々の子どもの情報は口外していない</p> <p>保護者、家庭の情報は口外していない</p>	3.94	<p>・してない。</p>		
	4	<p>「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない</p> <p>親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない</p> <p>電話は相手が見えないために誤解が生じやすい。手短に、簡潔に要領よく、対話することを心がけている</p> <p>保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない</p> <p>長期の欠席や入院等の場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている</p> <p>園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや会話を心がけている</p> <p>保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している</p>	3.74	<p>・言葉の使い方には十分注意している。</p> <p>・親しみを込めてこども、保護者に対応している。</p>		
	5	<p>保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している</p> <p>クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対処している</p>	4.83	<p>・クレームがあった場合はまず丁寧に話を聞き、主任、園長に報告している。また報告書を作り、ミーティング共有している。</p>		
	V 地域へ	1	<p>地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている</p> <p>地域の自然や主な施設の場所、交通機関、主な行事等について、ある程度理解している</p> <p>地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している</p>	3.30	<p>・散歩に出たとき、地域の人に子ども達と挨拶をしたり、自然に触れたりして関わりを持つようになっている。</p>	<p>・子どもからの話を聞く様子から、地域や自然と関わっていると感じる。</p>

の自然や社会とのかかわり	地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をしている			
	2 小学校の教育内容について理解しようとしている 卒園した子どもの情報を得るように努めている 地域の小学校の行事や公開授業に関心をもっている	2.73	・上の子がいる兄弟の子の保護者に聞いたり、年長組の聞き取りの際に、卒園児の様子を聞いたりしている。	・小学校に向けて、時間の間隔や生活習慣を身に付けてもらっている。懇談会で小学校へ向けて話を聞けて良かった。
	3 地域開放や子育て支援について具体的な形や内容を理解している 地域開放や子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合っている	2.85	・市との情報交換や連絡は園長を通してしっかりとって認識するようにしている。	・アプリやプリントで知らせてもらっている。
VI 研修と研究	1 研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している 研修会や研究会に参加する場合は事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめている 研修会や研究会では活発に発言している 専門書や専門雑誌を読んでいる 研究保育を参観するときは自分なりの課題と視点をもって観ている 自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行っている 自分の保育のあり方や悩みについて、他の教師や主任、園長と話し合っている 他園の見学をしたり、公開保育を観てみたりする機会をいつも探している	3.07	・研修(園内・園外)に積極的に参加し、自己課題の解決に努めている。 ・週に一度のミーティングにて、クラスの様子・状況など全職員と共有している。	・職員がどのような研修や勉強会をしているか不明瞭な点もあるので研修内容など公開してもらえると嬉しい。
	2 子どものみとりと内面理解について研修・研究を行なっている 指導計画の作成や記録の取り方、考察のあり方に関する研修・研究を行なっている 環境構成・再構成のあり方について研修・研究を行なっている 指導とかかわりのあり方について研修・研究を行なっている 自分なりの幼児観・保育観の確立のための研修・研究を行なっている 確立された幼児観・保育観について客観的に見つめるための研修・研究を行なっている 保育者同士の協力・連携のあり方について研修・研究を行なっている 自らの得意分野を確立するための研修・研究を行なっている 良識・常識・義務・マナーなどに関する研修・研究を行なっている 保護者への対応のあり方について研修・研究を行なっている	3.02	・学年会や主任会においてアイデアを共有し、納得のいく答えがでるまで話し合いをしている。また主任会での決定事項や方向性等は学年に共有される。	・いつもいろいろな経験をさせてもらい個々の子どもにも十分関わってもらっている。
	3 園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方の研究をしている 園の遊具や教材についてさまざまな利用方法について研究している 園の遊具や教材について子どもはどんな使い方をするのかの研究をしている 園の遊具や教材についてどのような使い方が危険かの研究をしている	3.27	・朝の掃除で遊具やおもちゃの点検を行っている。	・SNSで掃除の様子を見てとても安心している。
	4 園舎の構造(平屋、二階建て、三階建て)や保育室・遊戯室の位置・大きさなどが持つ特質が、幼児にとってどのような教育的な意味を持つかについて理解するための研究をしている 園庭や農耕栽培地、砂場、通路、池、かくれ場所などの位置、広さなどが幼児にとってどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に生かす研究をしている	3.03	季節に変わり目や保育の導入として、花壇に花を植えたり、野菜を育てるなど積極的に取り組んでいる	・花を育てた経験が、スポーツフェスタの表現に活かされ、つながりを持った保育をしてもらっている事が出来る

	園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かす研究をしている 園内の環境を、いくつかのまとまりや関連性を持たせて保育の計画・実践に生かす研究をしている		積極的に行っている。	している事が多い。
5	子どもを取り巻きさまざまな状況が変化してきていることについて学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態はどうであるかについて理解したり、学習したりする研究をしている さまざまな変化の中で、幼児にとって何が問題であるか、幼稚園としてはそれに対してどのような教育を行なわなければならないかについて考えたり学習したりしている クレームの対応についての勉強会をしている アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について研究している 障害のある幼児に対処する保育のあり方を学習している 預かり保育や子育て支援などのあり方・考え方について、学習している チーム保育について、その意義やあり方について研修・研究している 幼小連携について、その意義やあり方について研修・研究している 危機管理について、現状やあり方について研修・研究している	3.03	・日常の些細な事も学年会で話し合い、ベストな方向性を話し合っている。 ・連携⇒日々の状況を共有し、支援が必要な場合は、都度話し合い、最適な対応を考えている。	・きめ細やかに配慮されていると思う。担任の先生だけでなくいろいろな先生が見ているのも伝わる。
6	趣味・人のかかわりなど、うるおいのある生活を心がけている 保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある 尊敬する人の話はぜひ聞きたいと思っている いろいろな人と意見を交換し合いたいと思っている	3.43	・自分を高める為、充実した人生を送るために、ワークバランスを保てるように努めている。	・先生方がいきいきとした印象を受ける。

運転スタッフ自己評価

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 計画性	園の教育理念や教育方針を理解している 園のねらいにそった対応をしている 幼稚園の名称(看板)を付けて運行することを意識している 作業点検を実施している	3.42	・常に幼稚園の看板を背負って運行している ・先生方のサポートに徹し、言葉掛けは挨拶や相づち程度にとどめているが、教育理念や方針についての詳細を再確認すべきと考える。	・いつも安全運転してもらっている。
	2			
	3	3.33	・している。	・バスの運行以外にも様々な場面で関わってもらっている。
	4	3.25	・行っている。	・引き続きお願いします。
1	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な言葉がけを行っている 万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらするなど適切な処置をとるべく行動している、またはその心の準備がある 幼児にとっての危険の排除を意識して行っている	3.50	・バスの車内の清掃は毎朝出発前に行っている。 ・走行中も車内を確認し、例えば窓側でウトウトしている園児がいれば、窓ガラスで頭を打たないよう先生に進言している。	・ありがとうございます。

II 現場のあり方 (対応と技術、運用)	スクールバスの中の清掃や、換気、採光、温度に気を付けている			
	2 幼稚園勤務者らしい品位ある言葉、正しい言葉の用法を心がけている 幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かわり方をしていない 善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でモデルとなっている	3.08	・している。	・ありがとうございます。
	3 幼児の話をよく聞くようにしている 幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉がけをしている 極端な禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度をとっていない 教師の援助に進んで取り組んでいる(行事における机、いす移動など) 教師の進める活動と無関係に子どもと遊んでいない 幼児を無視したり、体罰を加えることばのような場合もしていない 幼児の気持ちを不必要にあおっていない	3.21	・毎朝子ども達に声を掛けをしてコミュニケーションをとり、楽しい通園になるように心がけている。	・いつも優しく見守ってくださりありがとうございます。
	4 指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で共通理解をもって、対応するようにしている バス停に停車時、園児以外の子どもの巻き込みを確認している バス停の停車位置の変更には上司や担当教諭と相談している バス停に、バスが到着時、扉をあけるための「よし」を教諭に伝えている 左折時の左巻き込みに、注意を払っている 路肩走行をしていない 雨天時、曇天時には適宜、ライトを点灯している 路地の走行では、子ども等の飛び出しに留意している 住宅地内の「とまれ」の標識のない交差点は最徐行、もしくは一旦停車している 幼稚園正門に進入時、門が開いている場合は停止している 幼稚園正門を出発時、担当者の出発合図を確認している 幼稚園正門を出発時、門の閉鎖を確認してから発進している 幼稚園出発にあたり、園児の乗車を補助している 年度初めのバスコースの編成にあたり、提案している 走行するうちに不都合と気付いた経路などを上司や担当教諭に提案している 渋滞や工事回避などの臨機応変のコース変更を本部へ連絡している 一日の終わりに、清掃を実施している 一日の終わりに、外回りの点検を実施している ダイヤより安全を優先している スピード違反をしていない 黄色の信号で進んでいない 定刻に出発している	3.43	・バス停にバスを停車させるときは圧迫感を持たれないよう十分に減速し低スピードにて進入している。又、発進時にもアイドリング状態でゆっくり発車するのを励行している。 ・運転士会にてデジタコ評価をもとに各々の欠点を探り、幼稚園の看板に恥じない運行に努めている。 ・バス停位置、経路等、やむを得ない状況により一般ドライバーから意見をいただくこともあるが、安全第一を最優先に道路交通法と園内ルールの順守に努め運行している。 ・中央自動車との連携及び日常点検の完全実施が、本年度、人身事故及び路上故障皆無に寄与していると考え。 ・社内の清掃、消毒、換気等、衛生面には気を配り、外気エアコンも併用し、感染予防に最新の注意を払っている。 ・急ブレーキ、急発進など急の付く動作をしないようスムーズな運転を心掛けている。	・バス停でも幼稚園発着・到着時も、安全に配慮してもらっている事がよくつたわる。
	仕事の時間外でも幼稚園勤務者としての誇りと自覚を持った言動と行動を心がけている 幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている 朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている			

III 職員としての資質や能力、良識、適正	5	感謝の気持ちを言葉などで表わしている	3.49	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝バスの中を清掃し、窓ふきを行っている。 ・くわな幼稚園にはたくさんの園児がみえるので全員の名前を認識する事は難しいが、出来るだけ多くの園児の名前を覚えるように努力している。 ・健康管理には十分注意している。不調であればすぐ病院に行き診察してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの名前も覚えてくださり、子どもも運転手さんが大好きです。
		園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしている			
		服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている			
		運転職としてにふさわしい服装を身に付けている			
		自らの健康に、十分に気を配っている			
		爪の管理をしている			
		保護者の顔や名前が子どものそれと一致するよう心がけている			
		職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている			
		幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない			
		園の重要書類を無許可で持ち出していない			
		備え付け用具の管理、点検に気を配っている			
		バスの中はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している			
		現金は管理せず、事務所に預けている			
6	教員と職員とが全員でひとつのチームであることを意識している	3.57	<ul style="list-style-type: none"> ・教員だけでなく交通、給食を含めた職員全体でワンチームという意識をしている。 ・業務上知りえた情報や園の重要書類などの秘密厳守はもちろんのこと、水道光熱費・消耗品の節約等、経費節減にも努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方とバスの運転手さんのチームワークは見ていて感じられる。 	
	他の人の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べている				
	自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している				
	園内、車両内禁煙を励行している				
	教職員や園の批判をしていない				
	教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない				
園のことを、みだりに、他へ話してしていない					
7	幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる	3.25	・できる。	・ありがとうございます。	
IV 保護者への対応	1	保護者との会話は「です」「ます」で行っている	3.13	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な挨拶に心掛け、密接でも疎遠でもなく、適度な距離を持って笑顔で接するよう努めている。 	
		保育参観や懇談会は子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努める行事であることを理解している			
	2	保護者からの相談ごとは、自分だけの判断で返答せず、ほかの職員や職員室に伝えている。	3.58	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 	
		保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている			
		保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている			
	保護者の協力が必要な場合は、上司と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている				
	3	保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている	3.67	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の漏洩禁止、教育の徹底を語る。 	
		個々の子どもの情報は口外していない			
		保護者、家庭の情報は口外していない			
	4	「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない	3.45	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーティーンとして各バス停では会釈をしている。 	
		朝、バス停に近づくとに会釈している			
		保護者の国籍、思想、宗教または職業により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない			

		自分の領域でない質問に無理に答えようとしていない			
		保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどして対応している			
	5	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、上司に連絡、報告、相談している 幼稚園駐車場では、保護者車両の通行優先を実行している	3.38	・している。	
地域との のかか	1	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	3.00	・通行させて頂いているという意識で送迎をしている。	
	2	他の幼稚園、保育園のスクールバスに会釈をしている	3.00	・心掛けているが会釈しても無視される園もある。	
VI 研修と 研究	1	自らの運転のマナーや方法について、自問している	3.47	・一時停止の交差点では二段階停止を行っている。停止線のない交差点では最徐行を励行している。 ・バス出発は先生の「オーライ」の合図で出発するが、十分条件として自らもミラーで園児が安全に着席したかを確認してから出発している。	・回数は少ないが、子どもが座る前に発進したり、乗せ忘れがある。
		速度の出しすぎに注意している			
		他の走行車両に迷惑にならないように配慮している			
		地元的生活道路を通行「させてもらっている」という認識を持っている			
		発進と停車をスムーズ行うべく、心がけと検証をしている			
		バス停で、バス出発時、園児の着席を確認している			
		停止線で停止している			
	バス走行中に運行に必要な言動以外はしていない				
	2	教諭との会話でパワーハラスメントととられる言動をしていない	3.63	・ハラスメントについては相手方によるものの比重が高く、アレルギー、障害者への対応も含めて勉強不足が否めない。	
		教諭との会話でセクシャルハラスメントととられる言動をしていない			
		朝の出発にあたり、教諭と朝の挨拶を交わしている			
		良識・常識・義務・マナーに留意している			
3	園の玩具や教材の使い方の危険性を理解している	3.60	・している。		
4	アレルギー、自立の遅れなどの問題について理解しようとしている	3.42	・危機管理については、費用が掛かるので、理想と現実との乖離はまだ課題が残るところである。		
	障害のある幼児に対処する保育のあり方に理解を寄せている				
	危機管理について、現状やあり方について研修・研究している				

行事を通して

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
入園式	保育者 幼児の行動を見守りながら適切な援助を行うようにする。	3.90	子どもたちの様子をみながら不安にならないよう笑顔で接し、優しく言葉をかけた	
	幼児 温かい触れ合いの中で、存在感、充実感を味わう。	3.90	自分のクラス、先生がよくわかるように話しかけ、また、子どもの言葉を受け止めた	・先生の服装がクラスカラーになっていてわかりやすかった。
	保護者 幼稚園と共に幼児を育てるという意識を高める。	4.00	これから始まる園生活に様々な思いをもたれていると感じるので、子どもの成長を共に喜び、育んでいきたい旨をここに話す際に伝えるよう心掛けた	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
--	-----	-----	-------	---------

始業式	保育者	進級の喜びや不安を受け止め、信頼関係を築く一歩であることを意識し一緒に遊び、一人ひとりの行動を見守りながら援助を行う。	3.80	・一人ひとりに名前を呼んで声を掛けるようにした ・笑顔で迎え、進級を喜ぶよう名札やクラスなど1つ大きくなったことを伝えた。
	幼児	新しい友達や先生と共に過ごすことの喜びを味わう。先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。	4.00	・嬉しい気持ちや不安な気持ち全て受け止め、笑顔で関わった ・新しい部屋や先生、靴箱の場所を挨拶を加え、親しみを込めて伝えた。
	保護者	新しいクラス、先生を知り、信頼関係の基盤作りをしていく。	4.00	・教育課程やカリキュラムで伝えられるようにした ・1年間の学年目標を全体に伝えた ・一人ひとりの親に丁寧に挨拶を心掛けた

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
避難訓練1学期	保育者	・あわてず、安全を第一に子どもを非難させることができる。	4.00	*指導案をよく事前に読み、学年会でもながれを話し合い訓練に臨んだ。
	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。・訓練ということを理解して、怖がらずに避難することができる。・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することができる。・怖がらず階段を降りることができる。	3.75	*始まる前に子ども達に逃げ方や隠れ方などを話し、理解してから参加できるようにした。

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
公開保育6月	保育者	・幼児の主体的な活動を促すために保育者は多様な関わりが必要であることを踏まえ、幼児の情緒の安定や発達に必要な豊かな経験が得られるよう、活動の場面に応じて適切な援助を行う。	3.90	・日常の遊びや興味関心のあるものを取り入れたり、予想される姿や環境設定の工夫などを学年で考えたりした
	幼児	・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。自然などの身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ。	3.90	・子ども達と準備したり、子ども達自身が自分で選び活動を楽しめるようにした
	保護者	・日々の子ども達が関心のある出来事や様子、活動内容をあらゆる手段を考え、伝え、安心して園に子ども達を任せられるという環境づくりをする。	3.90	・あそびや子どもたちの姿や様子を伝えたり、幼児観教材観などを通して知らせた

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
プール遊び	保育者	・安全管理を十分行いながら、水遊びの楽しさを知らせる。	4.00	プールの約束事を知らせ、安全面に十分配慮した。玩具を使ったり、動物になりきって遊んだり、子どもたちが楽しめるよう進めた。
	幼児	・わく 怖がらずに水の中に入ることができる。 ・少 水に慣れて遊ぶことができる。 ・中 水に慣れて顔つげができる。 ・長 伏し浮きができる。	4.00	水が苦手な子もいるので、花を咲かせる遊びやペットボトルを使った遊び、変身遊びなどを行い、遊びの中で楽しく水に慣れていけるよう進めた。

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
--	-----	-----	-------	---------

お泊り保育	保育者	・安心して参加できるよう、子どもに寄り添い安全面に配慮し取り組む。	3.90	・体調を気にかけ、事故がないよう、キャンプアドベンチャーや花火を行うようにした。・普段とは異なる環境で気持ちが高ぶりすぎて怪我が起こらないよう見守った。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのテントでご飯を食べる事も良かったが、学年全員で食べたり、テントチーム以外での交流ももう少しあっても良い様に感じた。 ・自主的な準備や片付けで自信を得る様子がかがえた。 ・宝探しが難しく、苦戦している子どもも目立った。
	幼児	・友達と泊まれたことに、充実感を味わう。 ・身の回りのことを積極的に言い、自立の心を養う。	3.90	・友達と泊まれたこと、パンツで失敗せず寝られたことを共に喜び、充実感を味わった。・着替えや片付けなど、子どものみで出来るように手伝いすぎず「どうやってするの?」と問いかけるように見守った。難しく、困っている子どもには少し手助けを起こった。	
	保護者	・子離れの経験をし、幼児の成長を喜ぶ。	3.90	・1日目は心配にならないよう、笑顔で受け入れるように心掛けた。 ・2日目の帰りや延長保育で2日間の様子を伝え、成長できたことを共に共感した。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
新入園児面接	保育者	4.00	子ども一人一人と目を合わせて、子どもに会った声掛けをすることが出来た。3人で役割分担をすることで、こどもの動きや言葉などの違和感、発達の遅れを観察することが出来た。グループで見たことを、話し合い、共有することで、その後の話し合いの参考にすることが出来た。	<ul style="list-style-type: none"> ・否定的な声掛けはせず交流が出来た。 ・不安を共有し、丁寧に対応していただいた。 ・強制せず、個性を大切にいただいた。
	幼児	3.30	遊びに参加しやすいように、笑顔で優しく話しかけたり、人形バベットを使って、安心できる空間作りを心掛けた。	
	保護者	4.00	保護者の方の不安や気になったことを受け止め共感し、一つ一つ丁寧に丁寧に対応することで、信頼を感じてもらえきつかけになった。返答が難しい質問は、すぐに回答せず、一度預かり、当日中に返答することで、不信感につながることなく解決出来た。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
スポーツフェスタ	保育者	3.90	・スポーツフェスタが始まる前、子どもが今まで頑張ってきたことを十分に認め、楽しんで参加できるよう声掛けた。 ・元気に体が動かせるようアナウンスや周りの応援、声援などをして楽しめるよう努めた。 ・保育者自身も全力で楽しんだ。 ・メダル渡しの時に1人ずつ声を掛け、達成感が感じられるよう工夫した。	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が全力で楽しんでいる様子がよかった。 ・全学年保護者と一緒に帰宅する・しないを統一したらどうか、すぐ帰されてしまって寂しい感じがある。(お昼を持参するなど) ・先生と園児の交流に愛情を感じた。一人ひとり表現できていた。 ・アクシデントに対して強制参加させない所が良い。 ・表現の始まり終わりの定位置を知れたら嬉しい。 ・終了後の保護者と先生の交流に個人差がある。
	幼児	4.00	・楽しそうに動く姿を認め、雰囲気が良いスポーツフェスタを終えることができた。 ・練習の中でイメージを持ってできるような言葉を掛け、身体を動かすことの嬉しさ、楽しさが味わえるようにした。	

	保護者	・集団との関わりを通して子どもの成長に接する。	4.00	・幼児観や日々の会話を通して子どもの様子や頑張っていることを伝えた。 ・収支温かい雰囲気を作っていたで、子どもたちも楽しくのびのびと参加できたと感じた。 ・スポーツフェスタ終了後、保護者と話して姿を共有し、成長を認めた。	
--	-----	-------------------------	------	--	--

目立った。

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
公開保育 11月	保育者	・幼児が自らその環境にかかわることにより、様々な活動を展開しつつ、必要な体験を得られるよう援助する。 ・幼児の活動する姿や発想を大切に、環境が適切なものとなるよう準備する。	3.70	・子ども達の思いを受け止めながら、子ども達がより遊びにのめりこめるような環境づくりをした	・年長→クラスによって保護者も一緒に遊んで遊んだりする事に差がある。 ・年少→保護者が一緒に遊ぶ事はなかったが、活動内容はよかった。
	幼児	・自然などの身近な事象に関心を持ち取り入れて遊ぶ。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	3.60	・友達とやりとりや表現を楽しみながら、イメージを広げられるようクラスで話したり、保育者も一緒に入って遊んだりするようにした	
	保護者	・情報交換の機会であることを踏まえ幼児教育に関する理解が深まるよう活動内容を伝えていく。	3.80	・保護者にも活動内容がわかるよう、活動途中で説明を加え、興味関心を持ってもらえるようにしたり、おたよりや直接話をして、日ごろの様子を伝えたりした	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
交通安全指導	保育者	・交通ルールを知り、守ろうとする気持ちを持つことができる。 ・おまわりさんの話を聞くことができる。	3.90	*警察官に質問したり、パトカーを見たりして話を聞くことができる。	
	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり安全に気をつけて行動する。	3.60	*どう行動すべきか子どもが自分で考えるように問いかけ、みんなで共有した。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
避難訓練 2学期	保育者	・慌てず、安全を第一に子どもを非難させることができる。	4.00	*指導案をよく事前に読み、学年会でも流れを話し合いしっかり訓練に臨んだ。	
	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。訓練ということを理解して、怖がらずに避難することができる。 ・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することができる。怖がらず階段を降りることができる。	3.78	*どう行動すべきか子どもが自分で考えるように問いかけ、みんなで共有した。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
クリスマス会	保育者	・クリスマスの楽しい雰囲気を作り、夢をもたせる。	4.00	夢をもつことができるようサンタはどこから来るのか、だれがおもちゃを作っているのかなど楽しい話をしたり、絵本をみたりした。	・クリスマスに対して夢がふくらんでいた。 ・ワクワク感が伝わってきて特別感があった。 ・クリスマスケーキが素晴らしい。
	幼児	・絵本や物語などに親しみ、興味を持って想像する楽しさを味わう。	4.00	クリスマスの絵本をみて、どんなサンタに来て欲しいのか、どんなツリーを飾りたいか話しイメージを膨らませるようにした。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
-----	--	-----	-------	---------

学習発表会	保育者	・幼稚園生活の自然の流れの中で生活に変化や潤いを与え、幼児が主体的に楽しく活動出来るようにする。 ・発表会をみんなで一緒にする達成感を体験させる。	3.85	・手遊びやごっこ遊びに反映させ、身近な言葉を用いて取り組んだり、保育者自身も楽しみながら大きく動いたり子どもたちからやりたいと参加できていた。 ・共通のイメージが持てるよう話し合いを大切にしたり、普段の遊びに表現を取り入れたりして、楽しく活動に繋げることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現をする目的が明確で素晴らしい。 ・保護者が介入しないように(役決め等)アナウンスを早めに明確にした方がよいと感じた。 ・先生の保護者との交流に差がある。 ・午前と午後の入れ替え時間に乱れがあり、時間に余裕が欲しい。 ・リハーサルの日には上着の着用をokにしてほしい。 ・わくわく組にひまわりがない理由はわかるが、発表会は手伝いを募るべきでは、保育者不足ならなおさら、二人くらい衣装が着れてなくて心配になった。
	幼児	・感じたこと、考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 ・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。	3.92	・音楽にのせて自由に表現する子ども、座って様子を見ている子どもがいたが、それぞれがその子なりに大きな舞台で参加した気持ちを持つことができた。 ・役のイメージをやシーン表、アイデアなど子どもたちからの提案を言葉をしっかり拾って、子どもたちの表現を取り入れた。	
	保護者に対するねらい	・一年の集大成として子どもの成長を目の当たりにすることで親の成長を助長する。	4.00	・保護者との別れ際に泣く姿はあったが、舞台では元気に走り踊る姿を見てもらえた。 ・発表会終了後に話ができなかった保護者とは、後日のお迎えの時、懇談の時おたよりで様子を伝えていった。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
お別れ会	保育者	もうすぐ年長児やクラスの友達とお別れということを知らせ、みんなで過ごす時間を楽しませる。	4.00	・親しみのある担任の先生が劇に参加したり、歌を歌うことで年長組にとってより特別な場面になるのではないかと。 ・小型スピーカーが聞こえずらかった。 ・床に物を置く場面、子どもの目線よりも低い位置にあったため、台などを置いて見やすくするとよかった。	
	幼児	お別れ会に楽しく参加する。別れだけでなく成長を感じる。	4.00	・ダンスでは、懐かしくてついつい笑みがこぼれてしまうような人気のある曲を選ぶとさらに盛り上がった。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
卒園式	保育者	大切な時間を共に過ごし温かく送り出す。小学校生活へ興味、関心がもてるように促す。	4.00	・大きくなった喜びを感じられるよう笑顔で声を掛け、「おめでとう」の言葉が心に届くよう努めた。 ・小学校に期待が持てるように日頃から小学校の話をしたり、チャイムの音で集まったりと日頃の生活に取り入れ、雰囲気を楽しめるようにした。	<ul style="list-style-type: none"> ・中が白紙のアルバムはいらない。業務の負担を減らすのは良いことだが、保護者もそれなりに忙しくアルバムを作るのも難しいこともある。全部作れとは言わないが、先生たちのメッセージなど何かあるとありがたい。→個別懇談の場で渡した ・文集は全クラス分が欲しい。→一文字が書けない、子がいる、やらせになるという理由でなくなりました。
	幼児	長限られた時間の中で、一つ一つの体験を大切に、ともに楽しみ共感し合う。在様々な関わりを通して年長児の卒園することを知り、親しみや畏敬の念を持つ。	4.00	・お別れ会や会食でふれあい、一緒に遊んだり、会話を楽しんだりして卒園までの日々を大切にすごした。	
	保護者	子どもと共に成長の区切りを知り、地域、家庭の新しい生活のリズムへ配慮する。	4.00	今までの感謝を伝えるとともに、保護者と子どもの成長を実感することができた。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
--	-----	-----	-------	---------

外の活動	保育者	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたいと意欲を持てるような声かけや援助を行う。 (わく・年少) 取り組めた姿勢を十分に認め見守りながら適切な援助を行う。 (年中・長) 主体性を大切にし、自信につながるような言葉かけ、援助を行う。 	3.90	<ul style="list-style-type: none"> ・輪に入りづらそうにしている子どもに声を掛けて見守る事に努めた ・個々のペースでリズムを感じ、身体を動かしたり、遊具の使い方を知り興味を示すタイミングを逃さないよう誘いかけ、自らの意欲、関心へと繋げた 	<ul style="list-style-type: none"> ・やらせるのではなく、やってみようと思える声掛けをしてきている。
	幼児	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな遊びをやらうとする。 (わく・年少) 自分の力で行動することの充実感を味わう。 (年中・年長) 身近な物や器具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。 	3.90	<ul style="list-style-type: none"> ・器具において、やってみようと思えるような言葉かけをしたり、クラス全体で取り組む機会を作ることで主体的に取り組めるようにした。 ・様々な遊び方を知るが、挑戦することが怖い気持ちを持っている子どもがいた為、安心して取り組めるよう援助・言葉かけをすることで遊びが安定し楽しめるようになった。 	

- ・評価シートをわかりやすくしてほしい。行事の判断基準はしやすい。また、教員の課題・対応の記入あるシートを前もってほしい。
- ・一号の就労証明書は、変更があった時、または学期ごとではだめか？家にコピー機のない人もいるので紙で配布してほしい。
- ・名刺カード&親子のつどいの復活を望む。クラスの子が分からない。カードを見ながら話す時間が大切。土曜日開催してほしい素敵な場
- ・わくわく組外遊び→帰りの時間他学年と同様外遊びを、危険という理由なら仕切るなどして少しでも外遊びをさせてほしい。
- ・行事の手紙→都度送られてくるので後で見返すのが大変。ひとまとめにしてほしい。
- ・ひまわりさんに遠慮し過ぎでは…もっと頼って、逆に出ていくと先生たちに負担かける？
- ・先生不足での三年持ち上がりは避けてほしい。慣れが悪い方に出てる。いろいろな先生のやり方に触れてほしい。